

## 中期経営計画(2016年3月期～2020年3月期)

中期経営計画(2016年3月期～2020年3月期)

# 新生東京エレクトロン 真のグローバルカンパニーへの挑戦

## 営業利益率 20-25%

## ROE 15-20%

### 中期事業目標

半導体前工程製造装置の市場規模370億ドルを前提とする中期目標において、2020年3月期までに営業利益率25%、ROE20%の業界トップクラスの収益力構築を目指します。

また、変動の大きい市場特性に鑑み、市場規模300億ドルの場合にも、営業利益率20%、ROE15%を達成できる経営体質の構築に取り組んでいます。

	2016年3月期(実績)	2020年3月期(中期経営計画)	
半導体前工程製造装置市場規模	315億ドル	<b>370億ドル</b>	300億ドル
売上高	6,639億円	<b>9,000億円</b>	7,200億円
売上総利益率	40.2%	<b>44%</b>	42%
販売費及び一般管理費	1,504億円	<b>1,700億円</b>	1,600億円
売上高販管費比率	22.6%	<b>19%</b>	22%
営業利益	1,168億円	<b>2,250億円</b>	1,450億円
営業利益率	17.6%	<b>25%</b>	20%
親会社株主に帰属する当期純利益	779億円	<b>1,550億円</b>	1,000億円
ROE(自己資本当期純利益率)	13.0%	<b>20%</b>	15%

### ビジョン

革新的な技術力と、多様なテクノロジーを融合する独創的な提案力で、半導体産業とFPD産業に高い付加価値と利益を生み出す真のグローバルカンパニー

### 経営方針

- 経営基盤および技術基盤を強化し、グローバル水準の収益力を構築します
- 市場環境や顧客ニーズの変化に対応し、真のニーズを捉え、総合的に技術力を結集してスピーディにソリューションを提案する「顧客ニーズ創造型」企業を目指します

### 実行体制

- 新CEOによる強力な執行体制
- 迅速な業務執行を可能とするグローバルなコーポレートシニアスタッフ(CSS)の設置
- 幅広い知見、若い世代をマネジメントに起用
- グローバルレベルでの人材の積極的活用

### 主な施策

市場成長を上回る売上拡大とオペレーションの効率化により、グローバル水準の利益体質を実現します

